

# 2021年3月期 第1四半期 決算説明資料

## 1 連結業績の概要

- 1) 新型コロナの影響 … P.3
- 2) 連結業績概要 … P.5
- 3) 営業利益の増減要因 … P.6
- 4) セグメント別売上高・営業利益 … P.7

## 2 連結業績の詳細

- 1) セグメント別売上高・営業利益 … P.9
- 2) 設備投資他 … P.14

## 3 2021年3月期 業績・配当予想

- 1) 国内外の見通し … P.16
- 2) 業績予想 … P.18
- 3) 2021年3月期の取組み … P.19
- 4) セグメント別売上高・営業利益 … P.20
- 5) 海外地域別売上高 … P.21
- 6) 設備投資他 … P.22
- 7) 配当予想 … P.23

## 4 戦略投資・生体画像認識分野

- 1) 戦略投資について … P.25
- 2) 生体・画像認識分野 … P.27

## 参考資料

### 2021年3月期 第1四半期

- ・損益計算書・包括利益計算書 … P.30
- ・貸借対照表 … P.31

### 2021年3月期 上期業績予想

- ・上期業績予想 … P.32
- ・セグメント別売上高・営業利益 … P.33
- ・海外地域別売上高 … P.34
- ・設備投資他 … P.35
- ・トピックス … P.36



**2021年3月期 第1四半期**

# **連結業績の概要**

6月末時点

米 国	【営業活動】	大きな制約を受け、多くの商談および納品が延伸。 ただしキャンセルとなった大口案件はない。
	【保守サービス】	顧客の店舗閉鎖などにより稼働率は通常の6割程度。
欧 州	【営業活動】	主要国の経済活動は徐々に再開しているが、米国同様に多くの商談および納品が延伸。
	【保守サービス】	顧客の店舗閉鎖などにより稼働率は通常の7割程度。
ア ジ ア	【営業活動】	主要国での営業活動の制約により、多くの商談および納品が延伸。
	【保守サービス】	主要国での稼働率は通常の7割程度。
中 国	【営業活動】	大きな制約もなく、通常通りの営業活動・保守サービスを実施。
	【保守サービス】	
海外 生産拠点	中 国	4月以降生産・調達ともに正常化。
	フィリピン	5月初めに生産を開始し段階的に稼働率を引き上げ、生産面での影響はなし。

6月末時点

**金融市場**

営業活動が制約されたことにより、商談および納期は延伸傾向。

**流通・交通市場**

一部の商談・納品が下期に延伸。  
新型コロナウイルス感染症対策として、セルフ機の需要は増加傾向。

**遊技市場**

ほぼ全てのホールで営業を再開しているが、来店客の戻りが遅く、  
新規出店および設備投資には慎重な姿勢。  
廃業する店舗も増加傾向。

## 売上高

新型コロナウイルス感染症拡大による活動制限を受け、販売が減少。

## 営業利益

売上高の減少などにより前年同期から大幅な減益。

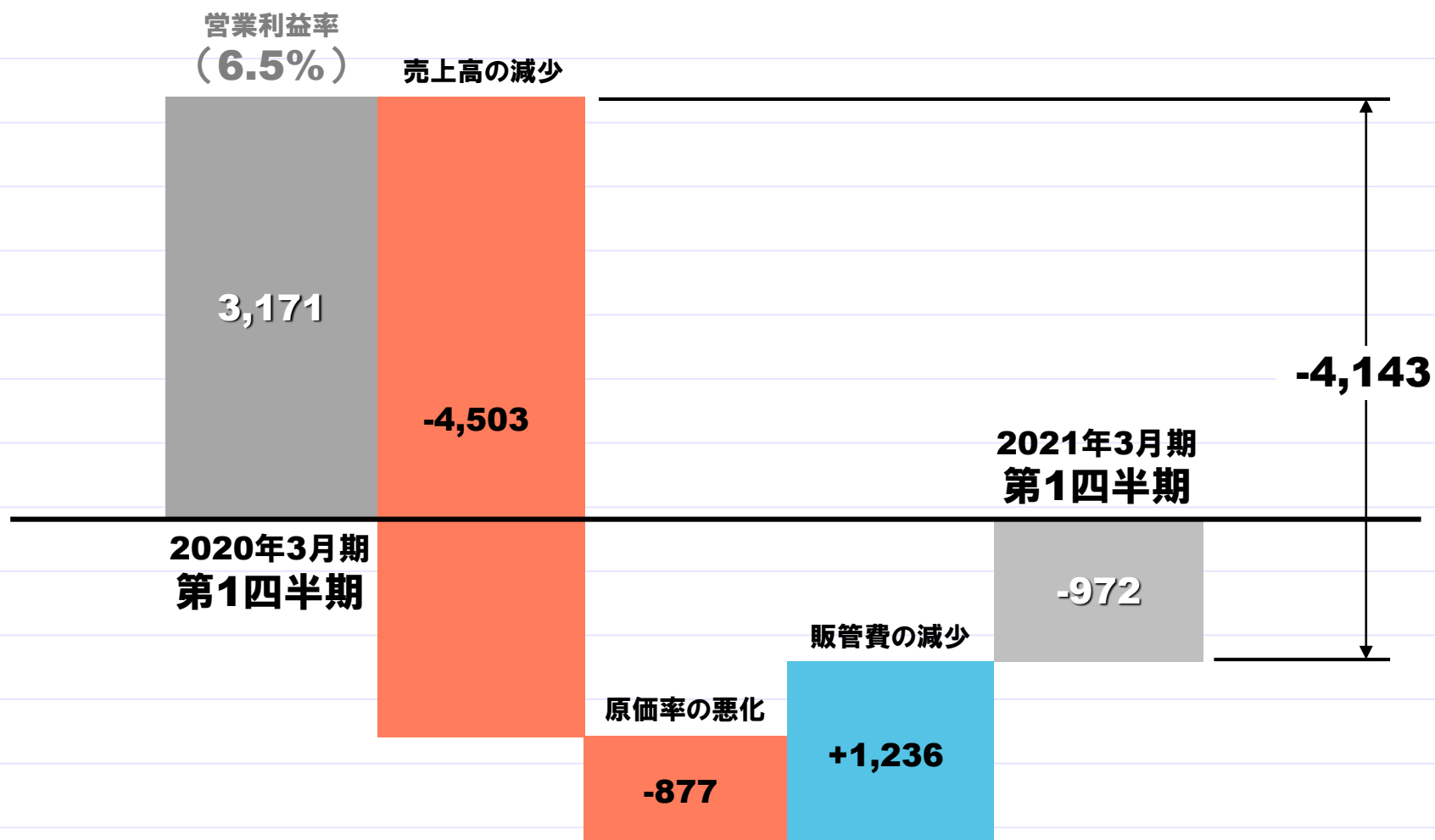
(百万円)	2020年3月期		2021年3月期		前年同期比
	第1四半期	売上高 比率	第1四半期	売上高 比率	
売上高	49,076	100.0%	38,077	100.0%	-22.4%
保守売上高	17,660	36.0%	16,223	42.6%	-8.1%
営業利益	3,171	6.5%	-972	- %	- %
経常利益	2,738	5.6%	-919	- %	- %
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,545	3.1%	-1,555	- %	- %
※ EBITDA	6,450	13.1%	2,302	6.0%	-64.3%

為替 レート	ドル	110 円	108 円
	ユーロ	123 円	118 円

※EBITDA=営業損益+減価償却費+のれん償却費

単位:百万円

売上高減少等により減益



(百万円)	売上高			営業利益		
	2020年3月期	2021年3月期	前年同期比	2020年3月期	2021年3月期	前年同期比
	第1四半期			第1四半期		
海外市場	21,541	17,866	-3,675 -17.1 %	1,246	-402	-1,648 - %
金融市場	8,617	7,829	-788 -9.1 %	297	176	-121 -40.7 %
流通・交通 市場	12,531	9,542	-2,989 -23.9 %	1,532	268	-1,264 -82.5 %
遊技市場	5,224	2,262	-2,962 -56.7 %	702	-316	-1,018 - %
その他	1,161	576	-585 -50.4 %	-608	-698	-90 - %
合計	49,076	38,077	-10,999 -22.4 %	3,171	-972	-4,143 - %

**2** 2021年3月期 第1四半期  
**連結業績の詳細**



## 主要製品の販売は低調

百万円	2020年3月期 第1四半期	2021年3月期 第1四半期	前年同期比
売上高	21,541	17,866	-3,675 -17.1 %
構成比率	43.9 %	46.9 %	+3.0 pt
営業利益	1,246	-402	-1,648 - %
構成比率	39.3 %	- %	- pt
営業利益率	5.8 %	- %	- pt

### 業績のポイント

金融市場向け

紙幣入出金機

リテール市場向け

紙幣硬貨入出金機

➡ 欧米で販売は低調

### セグメントの概要

海外の金融機関、警備輸送会社、小売店、カジノ、OEM先等への販売・保守

### 主要製品



紙幣入出金機  
RBGシリーズ



紙幣硬貨入出金機  
CI-100シリーズ



紙幣整理機  
UWシリーズ

(百万円)	2020年3月期	2021年3月期	前年同期比	
	第1四半期			現地通貨ベース
米州	7,583	6,036	-1,547 -20.4 %	-18.7%
欧州	10,011	7,582	-2,429 -24.3 %	-21.1%
アジア	2,480	2,912	+432 +17.4 %	-
中国	445	1,063	+618 +138.9 %	+153.0%
OEM	1,465	1,334	-131 -8.9 %	-8.9%
合計	21,541	17,866	-3,675 -17.1 %	-

- 
- }
米州
}
金融・リテール市場向け製品の販売が低調。
- }
欧州
}
金融市場向け製品の販売が低調。
- }
中国
}
金融市場向け製品の販売が好調。
- }
OEM
}
ATM用紙幣入出金ユニットの販売は堅調。

# 主要製品の販売は低調

百万円	2020年3月期 第1四半期	2021年3月期 第1四半期	前年同期比
売上高	8,617	7,829	-788 -9.1 %
構成比率	17.6%	20.6%	+3.0 pt
営業利益	297	176	-121 -40.7 %
構成比率	9.4%	- %	- pt
営業利益率	3.4 %	2.2 %	-1.2 pt

## 業績のポイント

- オープン出納システム
- 窓口用紙幣硬貨入出金機

➡ 営業活動が制限され販売は低調

## セグメントの概要

国内の金融機関、OEM先等への  
販売・保守

## 主要製品



オープン出納システム  
WAVEシリーズ



窓口用  
紙幣硬貨入出金機  
RBシリーズ



多能式紙幣両替機  
ENシリーズ

## 主要製品の販売は低調

百万円	2020年3月期 第1四半期	2021年3月期 第1四半期	前年同期比
売上高	12,531	9,542	-2,989 -23.9 %
構成比率	25.5 %	25.1 %	-0.5 pt
営業利益	1,532	268	-1,264 -82.5 %
構成比率	48.3 %	- %	- pt
営業利益率	12.2 %	2.8 %	-9.4 pt

### 業績のポイント

- レジつり銭機
- 売上金入金機

➡ 営業活動が制限され販売は低調

### セグメントの概要

国内のスーパーマーケット、百貨店、警備輸送会社、鉄道会社、たばこメーカー、病院、自治体等への販売・保守

### 主要製品



レジつり銭機  
RT/RADシリーズ



売上金入金機  
DSSシリーズ



小型入金機  
DSシリーズ

## 主要製品の販売は低調

百万円	2020年3月期 第1四半期	2021年3月期 第1四半期	前年同期比
売上高	5,224	2,262	-2,962 -56.7 %
構成比率	10.6 %	5.9 %	-4.7 pt
営業利益	702	-316	-1,018 - %
構成比率	22.1 %	- %	- pt
営業利益率	13.4 %	- %	- pt

### 業績のポイント

カードシステム

➡ ホールの営業自粛などにより販売は低調

### セグメントの概要

国内の遊技場(パチンコホール等)への販売・保守

### 主要製品

#### カードシステム



管理ターミナル



カードユニット



カード精算機



賞品保管機  
JKシリーズ

## 設備投資他

(百万円)	2020年3月期 第1四半期	2021年3月期 第1四半期	前年同期比	四半期毎の推移
設備投資額	1,451	1,134	-317 -21.8 %	<p>1,542 2,167 1,930 2,683 1,451 3,164 2,074 3,998 1,134</p> <p>FY18 (1Q) FY18 (2Q) FY18 (3Q) FY18 (4Q) FY19 (1Q) FY19 (2Q) FY19 (3Q) FY19 (4Q) FY20 (1Q)</p>
減価償却費	2,316	2,333	+17 +0.7 %	<p>2,100 2,277 2,326 2,242 2,316 2,535 2,604 2,678 2,333</p> <p>FY18 (1Q) FY18 (2Q) FY18 (3Q) FY18 (4Q) FY19 (1Q) FY19 (2Q) FY19 (3Q) FY19 (4Q) FY20 (1Q)</p>
研究開発費	3,104	3,185	+81 +2.6 %	<p>3,226 3,592 3,228 3,125 3,104 3,559 3,556 3,863 3,185</p> <p>FY18 (1Q) FY18 (2Q) FY18 (3Q) FY18 (4Q) FY19 (1Q) FY19 (2Q) FY19 (3Q) FY19 (4Q) FY20 (1Q)</p>

**3** 2021年3月期  
**業績・配当予想**

米 国	【営 業 活 動】 上半期は事業活動の制約が継続すると予想しており、 下半期から徐々に回復すると見込む 【保守サービス】 稼働率は下半期以降に回復すると予想
欧 州	【営 業 活 動】 主要国での経済活動の本格化に向けた不安要素は あるものの、下半期からは徐々に回復する見込み 【保守サービス】 稼働率は下半期以降に回復すると予想
ア ジ ア	【営 業 活 動】 主要国での営業活動の回復は下半期以降と予想 【保守サービス】 稼働率は下半期以降に回復すると予想
中 国	【営 業 活 動】 今後も通常通りに営業活動・保守サービスが継続する予想 【保守サービス】



**金融市場**

上半期の営業活動が制限されたことにより、主な商談は下半期へ延伸。  
一部金融機関では予算凍結も見られる。

**流通・交通市場**

商談・納品の遅れや予算凍結も見られるが、新型コロナウイルス感染症対策  
としてセルフ機の需要拡大を見込む。

**遊技市場**

来店客の戻りが鈍く、新規出店および設備投資には慎重な姿勢。  
廃業する店舗も増加傾向。

## 売上高

上期に新型コロナウイルス感染症による活動制限を受けたことにより  
前期に比べ減収を予想。

## 営業利益

売上高の減少や新事業への継続的投資により、前期に比べ減益を予想。

(百万円)	2020年3月期		2021年3月期		前期比
	通期	売上高 比率	通期 予想	売上高 比率	
売上高	224,170	100.0%	210,000	100.0%	-6.3%
保守売上高	71,099	31.7%	72,000	34.3%	+1.3%
営業利益	17,927	8.0%	6,000	2.9%	-66.5%
経常利益	15,657	7.0%	5,500	2.6%	-64.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	8,961	4.0%	2,500	1.2%	-72.1%
為替 レート	ドル	109 円	105 円		
	ユーロ	121 円	120 円		

## 持続可能な事業運営の基盤づくり（既存事業）

- ・強固な顧客基盤の徹底的な深掘りによる成長の再加速

## 国内事業戦略

## 市場の変化に柔軟に対応したソリューション提案の推進

## － 次世代店舗スタイルの実現、非現金事業分野の拡大 －

重点  
施策

## 【金融】

- ・次世代店舗スタイルを実現する製品の販売拡大
- ・主要商品の裾野拡大

## 【流通・交通】

- ・レジつり銭機(セルフレジ)・券売機などのセルフ機の販売強化
- ・非現金事業分野の販売拡大 → 電子決済、帳票処理、生体認証

## 海外事業戦略

## セルフオペレーション化による金融事業の再成長と

## リテール事業のさらなる加速

重点  
施策

## 【欧米】

- (金融) TCRの浸透率向上及びセルフ市場の開拓
- (リテール) バックオフィス市場の拡販強化とフロント市場への浸透  
買収した企業とのシナジー効果の創出

## 【アジア】

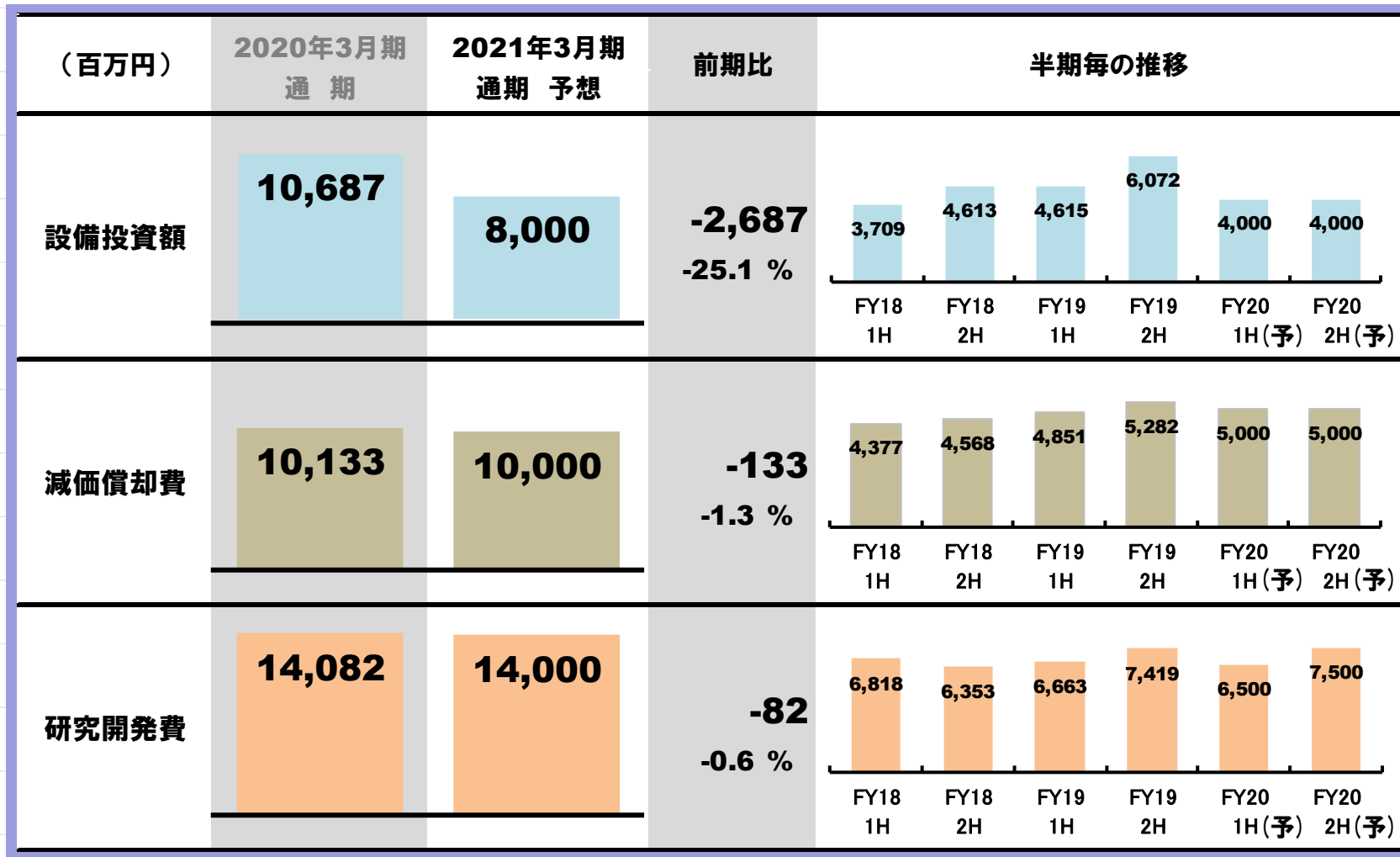
- (金融) 主要国でのTCRの販売拡大
- (リテール) 高度成長期待国への投資

## 社会課題解決に向けた協働の取り組み強化（新規事業）

- ・モノ（ハードウェア）からコト（ソリューション/サービス）へのビジネスモデルの変革
- ・生体・画像認識事業、ロボットSI事業のさらなる拡大

(百万円)	売上高			営業利益		
	2020年3月期 通期	2021年3月期 通期 予想	前期比	2020年3月期 通期	2021年3月期 通期 予想	前期比
海外市場	103,621	105,000	+1,379 +1.3 %	9,780	1,000	-8,780 -89.8 %
金融市場	42,262	45,000	+2,738 +6.5 %	3,314	5,000	+1,686 +50.9 %
流通・交通 市場	52,487	45,000	-7,487 -14.3 %	5,198	2,500	-2,698 -51.9 %
遊技市場	20,753	12,000	-8,753 -42.2 %	1,998	0	-1,998 - %
その他	5,045	3,000	-2,045 -40.5 %	-2,364	-2,500	-136 - %
合計	224,170	210,000	-14,170 -6.3 %	17,927	6,000	-11,927 -66.5 %

(百万円)	2020年3月期	2021年3月期	前期比	現地通貨ベース
	通 期	通期予想		
米州	38,189	35,000	-3,189 -8.4 %	-5.1%
欧州	43,313	50,000	+6,687 +15.4 %	+16.2%
アジア	14,802	14,000	-802 -5.4 %	-
中国	5,694	6,000	+306 +5.4 %	+6.3%
OEM	7,316	6,000	-1,316 -18.0 %	-18.0%
合 計	103,621	105,000	+1,379 +1.3 %	-



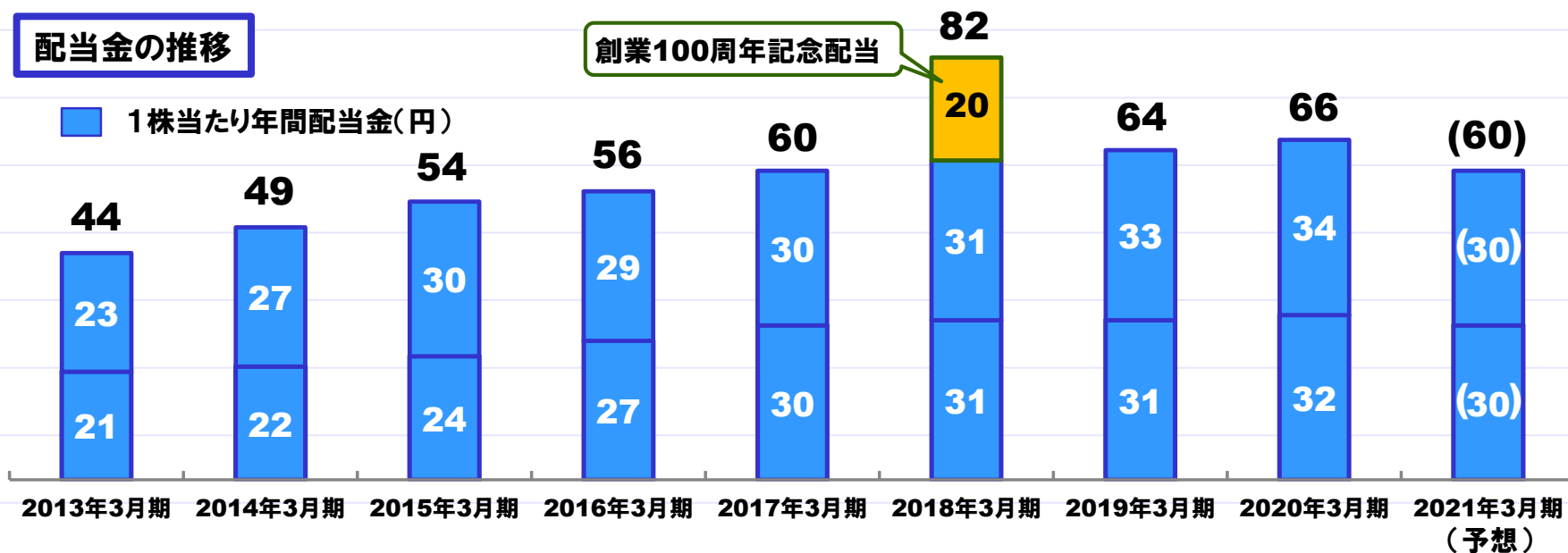
## 利益配分に関する基本方針

将来の事業展開に備えた財務体質の維持・強化を図りつつ、安定した配当を継続していくことを基本方針とし、

**連結配当性向30%以上**を目標に、配当を実施することとしております。

	第2四半期末(予定)	期末(予定)	年間(予定)
1株当たりの配当金	30円	30円	60円 (配当性向145%)

## 配当金の推移



**4****戦略投資****生体・画像認識分野**



## 【戦略投資総額】2018年度～2019年度：約445億円

## 1) 直販・直メンテナンス網の拡大・強化（約100億円）



- ・Sitrade Italia S. p. A.出資比率を75%に
- ・CTS Solutions S.r.l.を子会社化



オーストリアに現地法人を設立



販売代理店(Sortek社)を子会社化

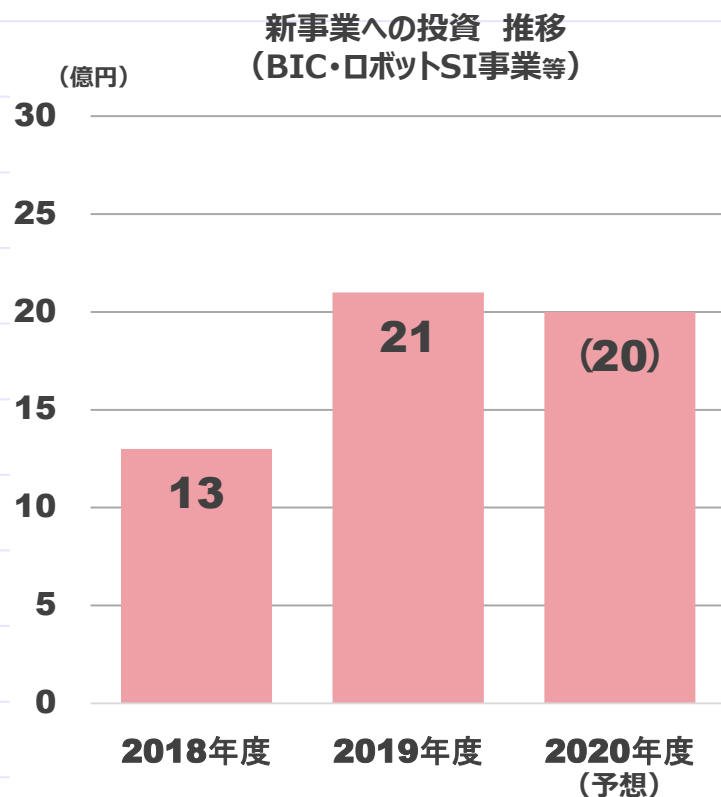
## 2) 新たなビジネスモデル + 既存事業とのシナジーの構築（約310億円）

## リーテル市場の拡大

買収/提携	企業名	Acrelec Group S.A.S	・Cash Payment Solutions GmbH ・SOCASH PTE. LTD	フュートレック	アドインテ
	金額	242億円	非公開	26億円	非公開
ソリューション	・店舗運営プラットフォーム ・ノンキャッシュ決済 ・ユーザーエクスペリエンス	・キャッシュ・アクセスポイントの拡大 ・eコマースの現金決済プラットフォームの提供	・音声認識技術を活用したソリューション ・CRM(顧客管理システム)の提供	・小売店および飲食店の来店客分析を通じた集客力の向上 ・Webターゲティング広告	
シナジー効果	・グローバルファストフードチェーンへのレジつり銭機の販売拡大 ・両社の販路を活用した製品のクロスセル ・グローリー保有技術との融合による新たなサービスの創造 など	・レジつり銭機の販売拡大 ・入出金機の販売拡大 ・顧客基盤のすそ野拡大 ・低コストキャッシュサイクルの実現 など	・多様な決済手段の提供 ・画像認識技術と音声認識技術の融合による高度な個人認証システムの提供 など	・店舗におけるCS改善や業務フロー改善のための分析・施策の提案 ・当社製品データとアドインテのデータ活用によるサービス提供 など	

## 3) 国内での新たなビジネスモデルの構築（約35億円）

新事業投資の 位置づけ	BIC ビジネス・イノベーション・センター	・既存事業に対する付加価値の創出（短期・中期） ・新しいビジネスモデルの創出（中期・長期）
	ロボットSI事業	・自動化の推進（短期・中期）



年度	BIC	ロボットSI事業
	実績・予想	
2018年度	・「Bio-pay」開発	・富士レボオ様 ・大手研究所 など
	・「次世代決済端末CASHPOINT」 実証実験	
	・「処方箋OCR」開発	
2019年度	・「Bio-pay」実証実験 ・「Bio-Check」開発	・建材メーカー ・大手研究所 ・バルブメーカー ・化粧品メーカー など
	・「チャージ機クラウド」試行 ・「処方箋OCR」試行	
	・「レジとも」概念実証 ・「Shoppers Cloud」試行 ・「ICクレジット決済」開発 ・「QR決済」の開発	
2020年度	・「Bio-pay」実証実験(継続) ・「Bio-Check」商品化開発	・医療メーカー ・食品メーカー ・大手研究所 など
	・「処方箋OCR」商品化開発	
	・「レジとも」開発 ・「Shoppers Cloud」商品化開発	



兵庫県立大学工学研究科 先端医工学研究センター  
 (AMEC) 内に「グローリー医工学共同研究講座」を  
 開設。

グローリーの認識・識別技術を融合し、高齢化社会に伴うさまざまな  
 疾病の早期発見と診断や治療などの支援に役立つ技術の確立を  
 目指す。



順天堂大学  
 JUNTENDO UNIVERSITY



順天堂大学および数社で共同研究を実施。

グローリーの感情認識技術と日本IBMのA I などを活用し顔の表情  
 や話す言葉などから、パーキンソン病や認知症などの早期発見や進  
 行度合を診断できるシステムの構築を目指す。

EcoNaviSta

エコナビスタ株式会社



介護・福祉施設向け健康見守りサービスで協業。

顔認証技術を利用した「離院事故予防システム」は、  
 患者さまが病院外へ出ようとされた際に、顔認証カメラで撮影した  
 画像とともに、病院スタッフの端末へメールで通知。



株式会社 EMシステムズ



保険薬局向け処方箋入力支援システムで協業。

イーエムシステムズが提供する調剤報酬を請求し、患者情報を  
 管理するシステムに、グローリーのOCR（光学式文字認識）技  
 術を搭載。（2019年10月より販売）

## 安心・安全な社会の実現に向けたソリューションの提供

## 新ウォークスルー型顔認証システムを開発

## 【特長】

- ・マスクやサングラスの着用、逆光や暗所、事前登録データが斜め顔など、厳しい認証環境でも高い精度で本人認証が可能。
- ・最大1000店舗の顔情報などを一元管理



## 渋谷書店万引き対策共同プロジェクト

東京都渋谷区の3書店が共同で顔画像を共有し万引き犯を検知する業界初のプロジェクト。

再犯を未然に抑止し書店の被害を減少させるとともに、お客様に安心・安全な店舗環境を提供。



## ナンバープレート文字画像鮮明化技術を開発

自動車のナンバープレートの文字が不鮮明な画像であっても、高い精度で文字を読み取ることができる業界初の「ナンバープレート文字鮮明化技術」を開発。

映像・画像からの車両ナンバーの読取正解率が20%向上し、防犯対策強化を支援します。



## BioPay（顔認証決済）を実用化

## 【サービス概要】

- ・加盟店でBioPay登録ユーザが、顔認証での決済が可能となる支払いサービス
- ・クレジット、銀行口座等を紐付け利用する

店内



スマホ/タブレット端末

顔 + 記憶認証での決済

# 參考資料

(百万円)	2020年3月期		2021年3月期		増減
	第1四半期	売上高比率	第1四半期	売上高比率	
売上高	49,076	100.0%	30,877	100.0%	-18,199
売上原価	28,983	59.1%	23,364	75.7%	-5,619
販売費及び一般管理費	16,921	34.5%	15,685	50.8%	-1,236
営業利益	3,171	6.5%	-972	-3.1%	-4,143
営業外収益	186	0.4%	295	1.0%	+109
営業外費用	619	1.3%	242	0.8%	-377
経常利益	2,738	5.6%	-919	-3.0%	-3,657
特別利益	0	0.0%	2	0.0%	+2
特別損失	59	0.1%	182	0.6%	+123
税金等調整前四半期純利益	2,679	5.5%	-1,099	-3.6%	-3,778
法人税等	741	1.5%	278	0.9%	-463
当期純利益	1,938	3.9%	-1,378	-4.5%	-3,316
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,545	3.1%	-1,555	-5.0%	-3,100

当期純利益	1,938	3.9%	-1,378	-4.5%	-3,316
その他有価証券評価差額金	-248		384		+632
為替換算調整勘定	-2,429		-900		+1,529
退職給付に係る調整額	34		87		+53
その他の包括利益合計	-2,638	-5.4%	-418	-1.4%	+2,220
包括利益	-699	-1.4%	-1,796	-5.8%	-1,097

# 貸借対照表 前期末比

(百万円)	2020年3月末	2020年6月末	増減	(百万円)	2020年3月末	2020年6月末	増減
現金・有価証券	73,583	51,680	-21,903	買掛債務	18,500	16,646	-1,854
売掛債権	52,838	43,689	-9,149	短期借入金	24,951	21,202	② -3,749
棚卸し資産	51,681	60,435	+8,754	その他	42,172	42,133	-39
その他	3,306	5,742	+2,436	流動負債合計	85,623	79,981	-5,642
流動資産合計	181,408	161,546	-19,862	長期借入金	46	4,408	+4,362
有形固定資産	38,503	39,310	+807	その他	35,950	45,917	+9,967
顧客関係資産	17,968	17,418	-550	固定負債合計	35,996	50,325	+14,329
のれん	43,246	60,235	① +16,989	負債合計	121,620	130,307	+8,687
その他	6,701	7,214	+513	資本金	12,892	12,892	0
無形固定資産	67,915	84,867	+16,952	利益剰余金	163,070	159,448	-3,622
投資その他の資産	20,935	22,380	+1,445	その他	11,181	5,457	③ -5,724
固定資産合計	127,354	146,557	+19,203	純資産合計	187,143	177,797	-9,346
資産合計	308,763	308,104	-659	負債純資産合計	308,763	308,104	-659

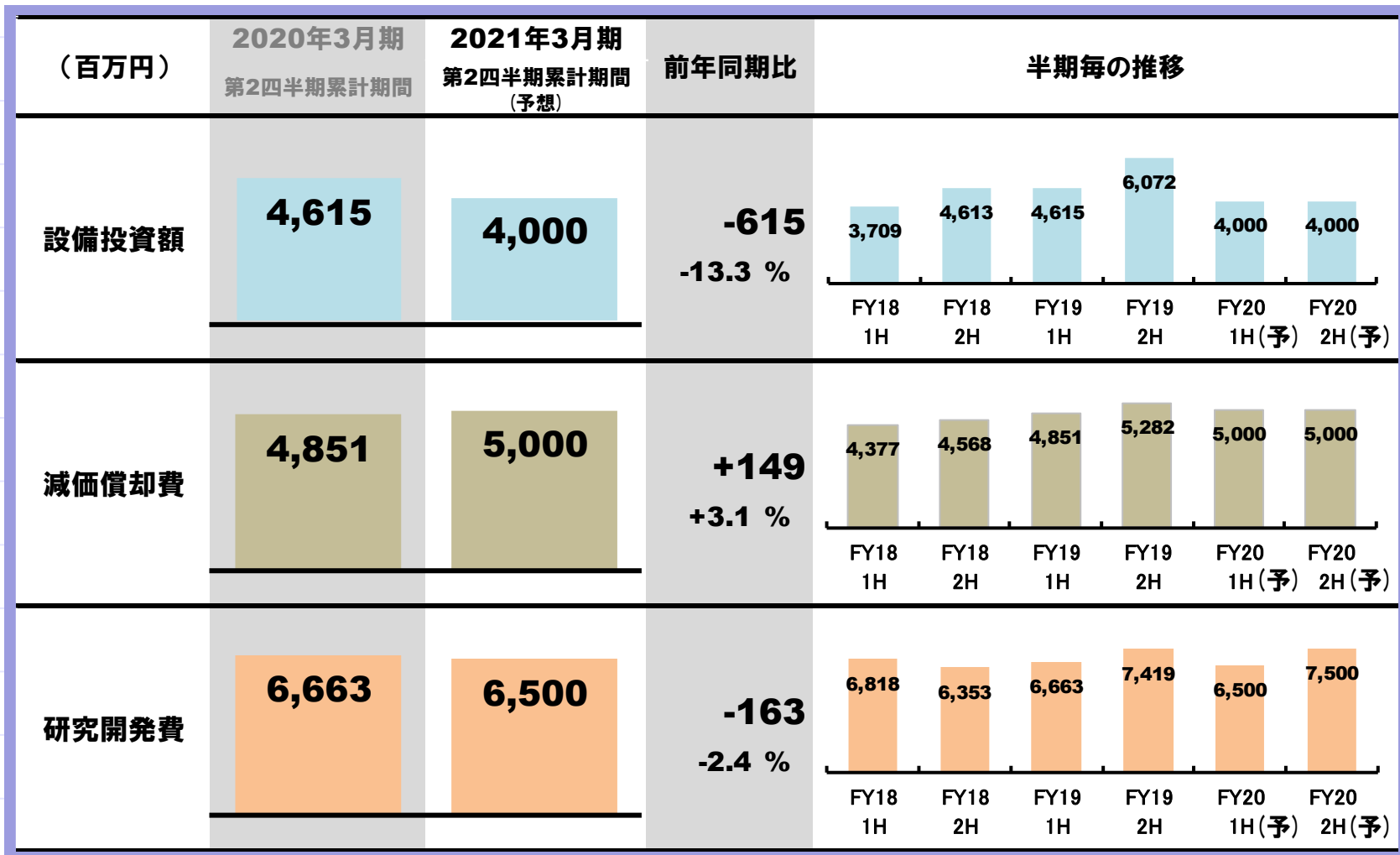
- ①アクレック買収によりのれんは増加。  
 ②有利子負債は短期借入金が減少。  
 ③アクレックの非支配株主へのプットオプションにより  
 資本剰余金が減少。

(百万円)	2020年3月期		2021年3月期		前年同期比
	第2四半期累計期間	売上高比率	第2四半期累計期間(予想)	売上高比率	
売上高	108,505	100.0%	85,000	100.0%	-21.7%
保守売上高	35,489	32.7%	33,000	38.8%	-7.0%
営業利益	9,018	8.3%	-2,000	-2.4%	-%
経常利益	8,316	7.7%	-2,000	-2.4%	-%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,859	4.5%	-3,000	-3.5%	-%
為替 レート	ドル	109 円	105 円		
	ユーロ	121 円	120 円		



(百万円)	売上高			営業利益		
	2020年3月期 第2四半期累計期間	2021年3月期 第2四半期累計期間(予想)	前年同期比	2020年3月期 第2四半期累計期間	2021年3月期 第2四半期累計期間(予想)	前年同期比
海外市場	47,564	40,000	-7,564 -15.9 %	4,047	-2,000	-6,047 - %
金融市場	22,335	19,000	-3,335 -14.9 %	2,068	1,000	-1,068 -51.6 %
流通・交通 市場	25,483	20,000	-5,483 -21.5 %	2,919	500	-2,419 -82.9 %
遊技市場	10,543	4,500	-6,043 -57.3 %	1,293	-500	-1,793 - %
その他	2,578	1,500	-1,078 -41.8 %	-1,309	-1,000	+309 - %
合計	108,505	85,000	-23,505 -21.7 %	9,018	-2,000	-11,018 - %

(百万円)	2020年3月期	2021年3月期	前年同期比	
	第2四半期累計期間	第2四半期累計期間(予想)		現地通貨ベース
米州	16,954	14,000	-2,954 -17.4 %	-14.6%
欧州	20,345	18,000	-2,345 -11.5 %	-10.5%
アジア	6,511	5,500	-1,011 -15.5 %	-
中国	2,265	2,700	+435 +19.2 %	+20.9%
OEM	3,753	2,500	-1,253 -33.4 %	-33.4%
合計	47,564	40,000	-7,564 -15.9 %	-



2020年7月3日

## ESG指数の構成銘柄に選定

ESG投資の代表的な指標である「FTSE4Good Index Series」ならびに「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に選定。

2020年6月29日

## モバイル印鑑スキャナーを販売開始

印鑑から直接印影を読み取る光学式印鑑スキャナーを従来製品に比べ約50%薄型にし、無線通信を可能にした製品。

利用場所を制限されず、渉外担当者が外出先でタブレット端末と連携しペーパーレスで取引が可能。

## <注意事項>

1. 本資料に記載されている、業績見通し等の将来に関する情報は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが含まれます。また、本資料の将来の見通しに関する記述につきましては、法律上その手続きが必要となる場合を除き、事前予告なく変更することもありますので、ご了承ください。
2. 当資料の増減率、構成比は、百万円以下を切り捨てた数値を基に算出しており、決算短信の増減率とは異なる場合があります。